

■ 目標値未達成の要因について

〔1〕

30年度の 成果測定指標	単位	30年度の目標値	30年度の実績値
主要3施設の稼働率の向上	%	90.0	86.2

未達成の要因と分析	今年度は大型催事の件数増により、昨年度の83.1%から3.1ポイントの伸びはあったが、目標値には届かなかった。当会議場のこれまでの最高の稼働率は平成21年度の87.3%であり、これの更新を目指して取り組みを進め、これに迫る稼働率ではあったが達成するには至らなかった。今期の事業収入が過去最高であることを考えると、この目標値の達成は非常に困難であると判断し、最終年度2023年度の目標値については、過去最高の稼働率である87.3%に設定した。
------------------	--

今後の改善方策	<p>「高稼働率に向けた取組み」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型催事の誘致（株主総会、卒業式・入学式、周年行事、展示会、キックオフ、表彰式等） ・閑散期（月曜、GW、7月～8月、1月）誘致営業 ・施設を稼働させながら設備等のメンテナンス実施を行うための詳細な調整、工夫
----------------	--

〔2〕

30年度の 成果測定指標	単位	30年度の目標値	30年度の実績値
催事主催者等会議場利用者の不満足度の割合を引き下げる	%	1.2	2.4

未達成の要因と分析	<p>【主な要因】</p> <p>①備品に対する不満足 備品に対する不満足の高く、使用年数の経過によるキズや汚れ、ゆがみ等に対しての不満と思われ、アンケートの意見欄にも同様の記載があった。</p> <p>②施設に対する不満足 隣の会議室の音が気になる、エスカレータが作動していないといったことが要因。</p> <p>③スタッフの対応に対する不満足 当社社員ではなく、委託業者の従業員のケースが多い。直接の契約関係にないため丁寧な対応ができていない。</p>
------------------	--

今後の改善方策	<p>「主な取組」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○備品の買替、追加購入及び新規備品の購入 ○会議室利用等におけるマナーの徹底、節電のための取組み（エスカレーターの運転休止）等については催事主催者に事前にお知らせし十分理解を得るよう努める。 ○催事主催者との打合せについては、お互いに思い違いはないか、見落とししていることはないか等について丁寧かつ綿密に行う。 ○委託業者に対し、催事主催者からのクレーム等がないよう、常に丁寧な対応を心がけるよう申し入れを行う。
----------------	---